

「『私たちの学校』づくり」 軽井沢フォーラム 2026

定員 100名

～軽井沢オーフンドアスクール設置に向けて～

軽井沢町は、標記スクール設置準備会議における議論や新しい学校づくりの理念仕組みなどを既存の町立学校にも導入することで、さらなる魅力化を図る取組をしています。「軽井沢オーフンドアスクール設置」と「既存の学校のさらなる魅力化」を並行して行う取組全体を「『私たちの学校』づくり」と名付けています。

本日は設置準備会議委員の皆様を交え、意見交換する機会とします。

7月12日（日）14：00～17：00

場所



軽井沢町
中央公民館
大講堂（2階）

参加無料

対象者

- ・町内小中学校の保護者の方
- ・軽井沢オーフンドアスクールに興味のある方
- ・教育に興味のある方（町内外を問いません）

お知らせ

- ・フォーラムに参加ご希望の方は下のQRコードからお申し込みください。
- ・定員を超えた場合には町内の方を優先に抽選とさせていただきます。抽選にもれた方のみ、お知らせいただいた連絡先に連絡いたします。
- ・ワークショップのグループ分けは、当日お知らせします。
- ・現在、役場周辺の工事を実施しているほか、当日地域のお祭りに伴う交通規制もあるため、う回路等確認の上、時間に余裕をもってお越しください。

当日のスケジュール（予定）

第1部 シンポジウム

14：00～15：20

事務局等から話題提供を行った後、ゲストの皆さんから、ご自身の活動に絡めて軽井沢オーフンドアスクールや公教育への期待などについて伺います。

第2部 ワークショップ

15：20～15：50

第1部を受けて、グループごとに意見交換を行います。

第3部 まとめと質疑応答

16：00～17：00

第2部での話し合い内容の発表と、全体への問題提起や委員の皆さんへの質問等をグループ毎に出してもらいます。必要に応じて、全体で論議したり、ゲストの皆さんに答えてもらいます。

主催：軽井沢町教育委員会 後援：長野県教育委員会

申込みはこちらから



7/3（金）×切

問い合わせ先

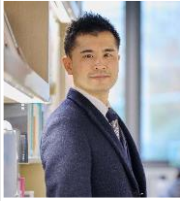
軽井沢町教育委員会 とも教育課 軽井沢高校・教育魅力化推進係 担当：金井・桐野・根津

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2353 番地 1

電話：0267-45-8672

mail：miryokuka@town.karuizawa.nagano.jp

軽井沢フォーラム2026 ゲストの紹介



ファシリテーター
荒井 英治郎
信州大学教育基盤
構築センター准教授

【経歴】

東京大学大学院教育学研究科を経て、2016年から現職。同センターの地域連携部門長も務め、学校や教育委員会が直面する課題解決や地域連携・協働・共創の促進のサポートを行っている。「学校組織の健康診断」として、「活き活き×やりがい職場調査」の開発に携わり、「働きがい」と「働きやすさ」の両立を目指して、組織を「見える化」し、対話の文化を醸成していく働き方改革の伴走支援を行っている。「信州型フリースクール認証制度」の制度設計など、多様な学びの場の創造を通じて、公教育制度の在り方を問い直す調査研究を行っている。信州学び円卓会議座長など多数の社会貢献活動を行っている。



ゲスト
三和 秀平
信州大学学術研究院
教育学系准教授

【経歴】

筑波大学人間総合科学研究科博士後期課程を経て、2023年から現職。専門は教育心理学。研究の関心は勉強に対する考え方、教科に対して感じる価値、メタバースによる不登校支援。日本パーソナリティ心理学会、ソーシャル・モチベーション研究会、日本教育工学会の各種委員を歴任。教育学部に所属し、未来の教育の養成を務めている。長野市の教育支援センターSaSaLANDの立ち上げから教育支援などを連携し、特に施設につなげられていない子どもに向けたメタバース支援にかかわる。実践・研究を通して教育支援センターのあり方や学ぶ意味や意義について発信している。



ゲスト
木村 泰子
大阪市立大空小学校
初代校長

【経歴】

大阪府生まれ。2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。この映画は文科省の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地の教育現場などで自主上映されている。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演活動やセミナーで全国の人たちと学び合っている。



ゲスト
西郷 孝彦
世田谷区立桜丘中学校
元校長

【経歴】

横浜生まれ。上智大学理工学部を卒業後、1979より都立養護学校（現：特別支援学校）に赴任、肢体不自由児の教育を通じて教育の原点に触れる。以降、理科と数学の教員、副校長を歴任。2010年より世田谷区立桜丘中学校長に就任し、インクルーシブ教育を中心に据え、校則や定期テスト等の廃止、ICT（情報通信技術）の活用、個性を伸ばす教育を推進した。2020年3月退職。NHK「ノナレ」ほか出演。著書に「校則なくした中学校たったひとつの校長ルール」、「過干渉をやめたら子どもは伸びる」（共に小学館）「無垢の祈り～僕が出会った子どもたち～」(理工図書)



ゲスト
飯澤 幸世
日本財団海洋事業部
元部長

【経歴】

保健医療系 NPO での広報経験を経て、2016年より日本財団に入職。広報 PR の視点から事業を後押ししながら、子どもの第三の居場所事業や不登校支援事業に従事する。全国各地の現場を訪ね、社会をよりよい方向に動かそうとする NPO・行政・地域住民の想いや活動に触れてきた。言葉にならない現場の熱量を社会に伝えることが、次の一人ひとりの行動につながり、社会をよりよくしていく原動力になるよう願いをこめて、その記録を一冊にまとめた。「子どもの第三の居場所づくり 全国の担い手たちによるとおきの方法」（かもがわ出版）を2026年4月発売。



ゲスト
西野 博之
認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば 理事長

【経歴】

1986年から不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりに関わる。1991年、川崎市高津区に「フリースペースたまりば」を開設。1998年から川崎市子ども権利条例調査研究委員会の世話人として条例策定に関わり、その具現化を目指した「川崎市子ども夢パーク」の開設に尽力。2021年まで15年間その所長を務めた。文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」委員など数々の公職も歴任。NHKをはじめとするメディアにも多数登場。



ゲスト
岡田 敏之
基礎教育保障学会会長
京都市立洛友中学校
(併設校) 元校長

【経歴】

京都市立各中学校で教諭として22年間勤務。その後、京都市教育委員会生徒指導課に勤め、2012年から京都市立洛友中学校校長。2015年から京都教育大学教授。夜間中学の実情や必要性について説く講演や啓蒙を行う傍ら、文部科学省の夜間中学設置促進・充実協議会座長や滋賀県、香川県三豊市・名古屋市中区、三重県の夜間中学設置検討委員会の座長を務めた。現在、文部科学省学びの多様化学校マイスター、文部科学省夜間中学の設置促進・充実委員会委員、京都府多様な学習機会の確保の在り方についての検討会議委員長等を務める。

軽井沢オープンスクールとは？

- ・今までにない新しい学び方ができる長野県初の中学校です。
- ・多様な生徒が共に学び、共に成長できる学校です。
- ・軽井沢中学校の分校で、場所は軽井沢高校の北校舎に設置されます。

| <学びの多様化学校コース> | | <夜間中学コース> | |
|---|------------------------------------|---------------------|-------------------|
| 学校を休みがちだったり、行きづらかったりする生徒の、こんな願いに寄りこえます。 | 義務教育の年齢を過ぎた方や外国由来の方の、こんな願いに寄りこえます。 | 自分に合った学び方を選びたい | 自分の好きなことをとことん学びたい |
| 一人で休憩できる部屋がほしい | 1日の過ごし方を自分で考えて決めたい | 仕事や生活のために学びたい | 後悔しないように学び直したい |
| | | 中学校卒業資格をとり、高校に進学したい | もう一度中学校生活をやり直したい |

- 授業は、複数の教員により、一人ひとりの状況に合わせてきめ細かく支援を行います。
- AI教材の活用、少人数やグループなどでの学習、オンラインでの学習もできます。
- 校則はありません。服装や髪型、持ち物等も自由です。
- 規則等が必要になった場合は、生徒と教職員で相談していきます。